

市民アンケート調査集計結果

(1) アンケート調査の概要

この調査は、平成22年7月1日から本格運行を開始した稲沢市コミュニティバスの利便性向上に向け、今後の『運行事業計画』見直しの検討に資することを目的として実施しました。

ア 調査期間

平成25年5月22日（水）から6月5日（水）までの15日間

イ 調査対象

平成25年5月1日現在、住民基本台帳に登録されている満18歳以上の市民から無作為抽出した市民2,500人。

ウ 調査項目

- コミュニティバスの認知について
- コミュニティバスの利用の有無について
- 主に利用される路線について
- 主に利用されるバス停留所について
- コミュニティバスの利用頻度について
- 主にコミュニティバスに乗車される時間帯について
- コミュニティバスの主な利用目的について
- 主な目的地について
- 最寄りの停留所まで徒歩でかかる時間について
- 利用しない理由について
- コミュニティバスで行けるといいと思う施設・場所について
- 各路線における経費負担額と運行路線の見直しについて
- 利用料金について
- コミュニティバスの改善点について
- 新市民病院開院後の利用について
- 新たな停留所の設置を期待される目的地について

エ 調査方法

無作為抽出した2,500人へアンケート調査用紙を郵送し、同封した返却封筒により調査用紙を回収

オ 回答率

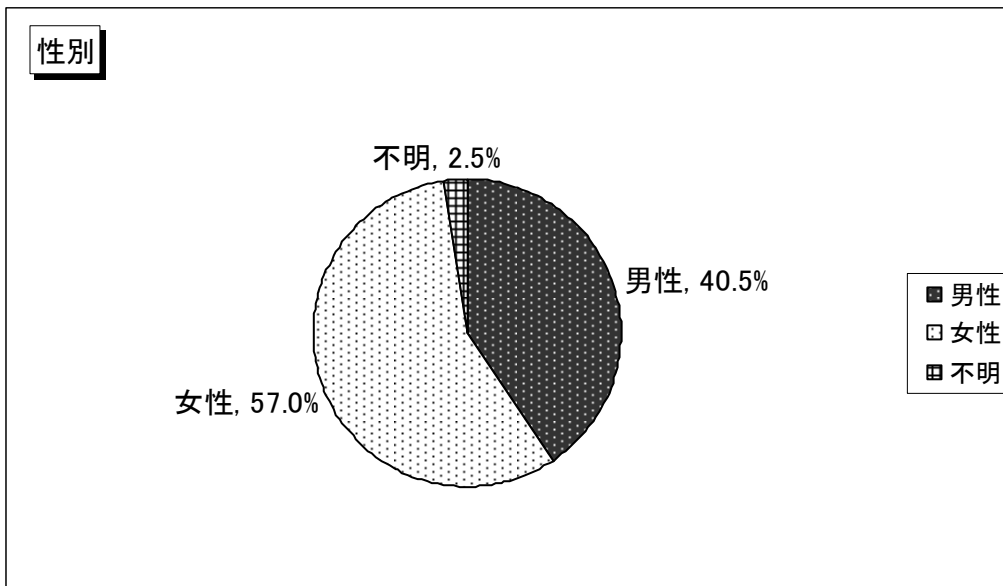
61.0% 回答者数 1,524人

(2) アンケート調査の結果

ア 回答者の属性

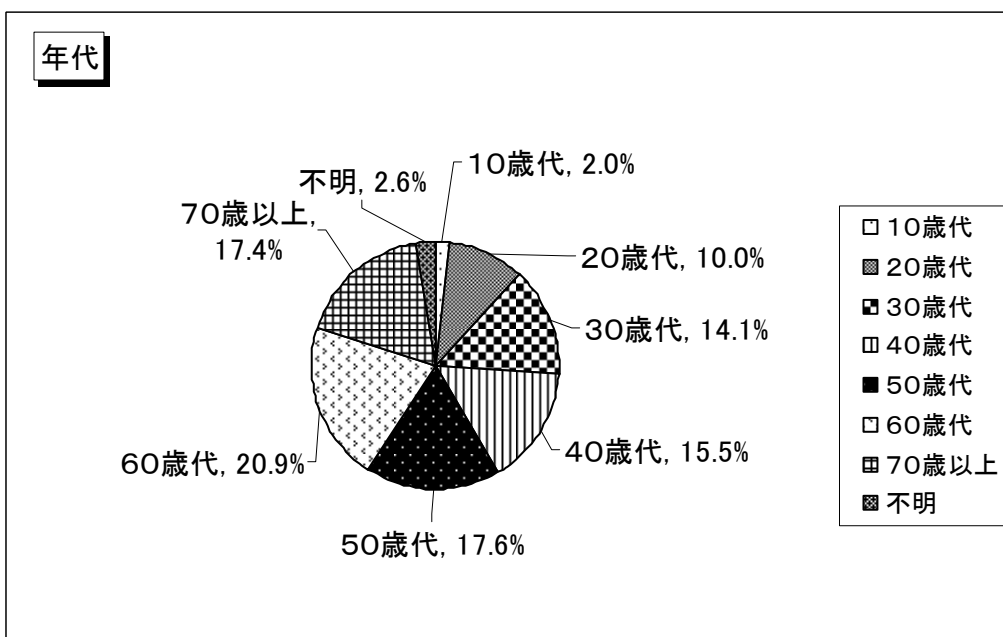
◎ 性別

○ アンケート調査に回答していただいたかたは、男性 40.5%、女性 57.0%と、やや女性が多くなっています。



◎ 年代

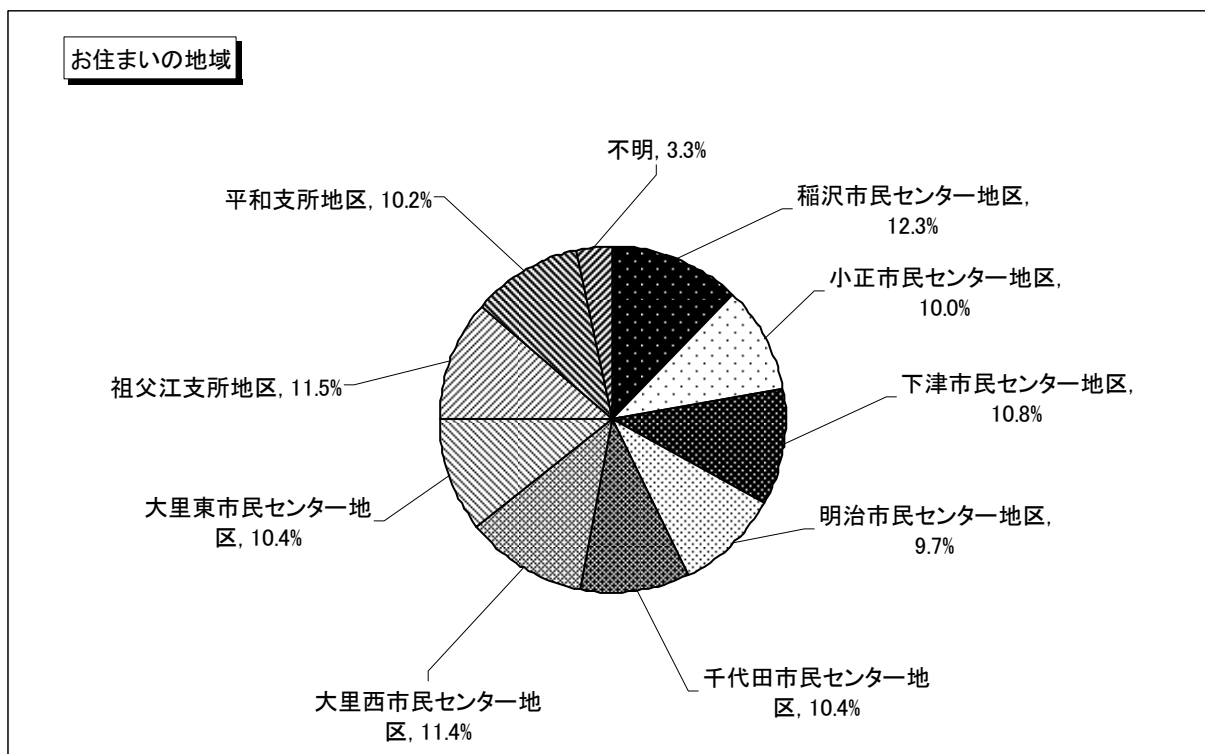
○ 回答していただいたかたの年代別の割合は、60歳代が 20.9%、50歳代が 17.6%、70歳代が 17.4%、40歳代が 15.5%の順に多くなっています。50歳代以上のかたで過半数を超え、40歳代以上のかたでは 71.4%もの割合を占めています。年齢が若くなるほど割合が低くなり、60歳代のかたなど、年齢が高いかたに積極的に回答していただいている傾向となっています。



◎ お住まいの地域

○ 回答していただいたかたの地域別の割合は、稲沢市民センター地区が 12.3%と最も高く、最も低かったのは、明治市民センター地区の 9.7%でした。

最も高かった地区と最も低かった地区の差は 2.6%でしたので、地区によって大きな偏りはありませんでした。概ね、全地区のかたに偏りなく回答していただいたものと考えられます。

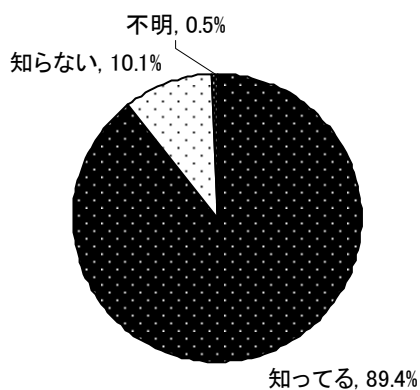


イ 設問

問1 コミュニティバスが運行していることを御存知ですか。

- コミュニティバスの運行を「知っている」と回答されたかたは、89.4%で、9割近くを占めました。平成20年7月の試行運行から5年、平成22年7月の本格運行から3年が経過いたしました。市内のほとんどのかたにコミュニティバスの運行が認知されています。

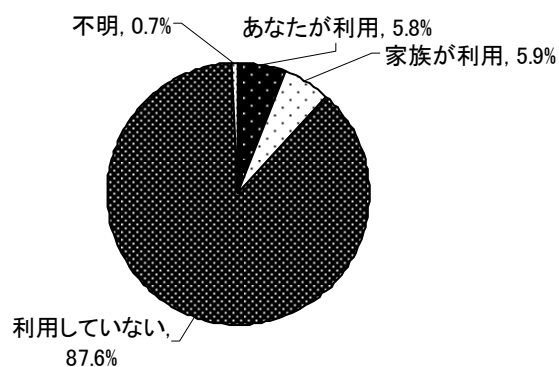
コミュニティバスが運行していることを御存知ですか



問2 あなたか、家族のどなたかがコミュニティバスを利用していますか。

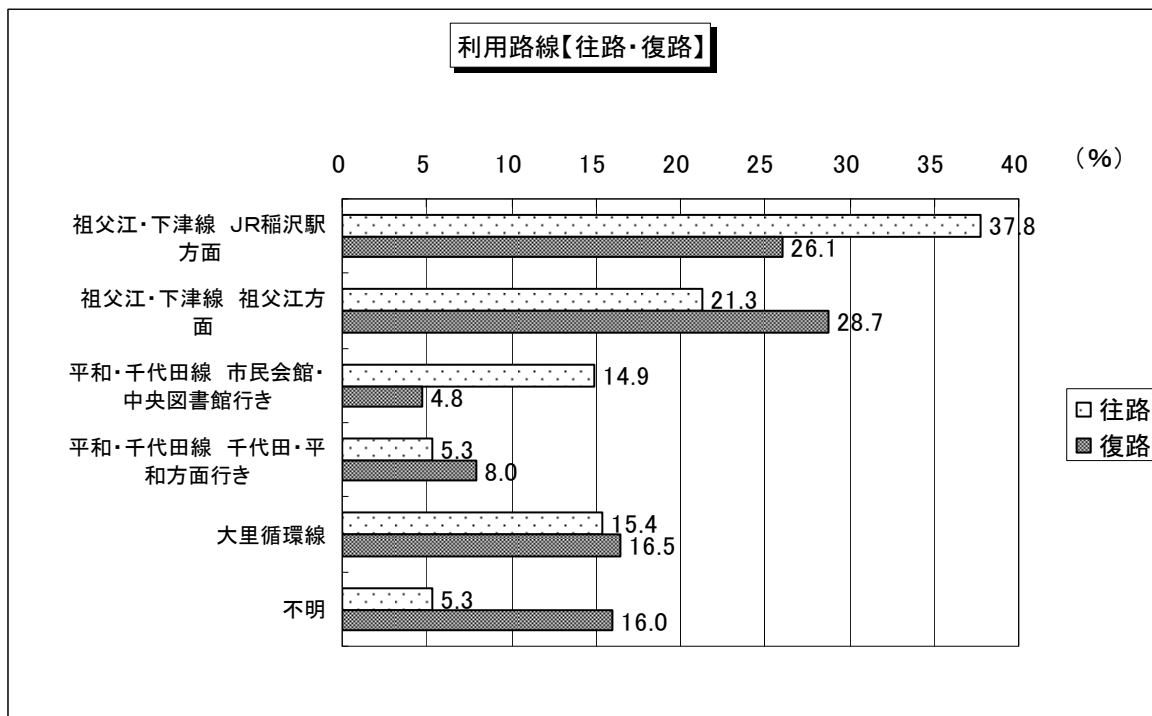
- 利用されていないかたが87.6%と、9割弱にものぼります。「あなたが利用」が5.8%、「家族が利用」が5.9%で、あわせても11.7%にしかありません。問1で9割近くのかたにコミュニティバスの運行が認知されながら、利用率が低調な状況でありますので、利用率向上に向けた『コミュニティバス運行事業計画』見直しの検討が必要です。

あなたか、家族のどなたかがコミュニティバスを利用していますか



問3 主にどの路線を利用されますか。
 往路・復路について、1つ選んで記入してください。
 なお、乗継ぎをされた場合は、乗継ぎ後の路線を記入してください。

- 祖父江・下津線、次いで大里循環線の利用者が多い傾向です。往路での1位は「祖父江・下津線 JR稲沢駅方面 (37.8%)」、2位は「祖父江・下津線 祖父江方面 (21.3%)」、3位は「大里循環線 (15.4%)」となり、復路での1位は「祖父江・下津線 祖父江方面 (28.7%)」、2位は「祖父江・下津線 JR稲沢駅方面 (26.1%)」、3位は「大里循環線 (16.5%)」となっています。
 往路の第1位は「祖父江・下津線 JR稲沢駅方面」、復路の第1位は「祖父江・下津線 祖父江方面」で、往路と復路での第1位が方面別に入れ替わっています。
 平和・千代田線は、「市民会館・中央図書館行き」の往路で14.9%であるものの、他は10%に満たない利用率で、低調な路線となっています。また、同線「市民会館・中央図書館行き」の往路と復路での落差が目立ちます。
- 乗継ぎをされたかたの状況は、全ての路線をあわせても合計で11件（往路6件、復路5件）に留まっています。



【乗継ぎをされたかたの状況】

(回答数)

路線・方面	往路	復路
祖父江・下津線 JR稲沢駅方面	2	0
祖父江・下津線 祖父江方面	2	0
平和・千代田線 市民会館・中央図書館行き	0	2
平和・千代田線 千代田・平和方面行き	1	3
大里循環線	1	0
合計	6	5

問4 主にどのバス停留所を利用されますか。
往路・復路について、それぞれ利用される停留所名を記入してください

○ 御回答いただいた結果は次のとおりです。駅、病院、量販店付近の停留所での乗降が多くなっています。

【利用するバス停の状況 往路・復路・乗車・降車】 (回答数)

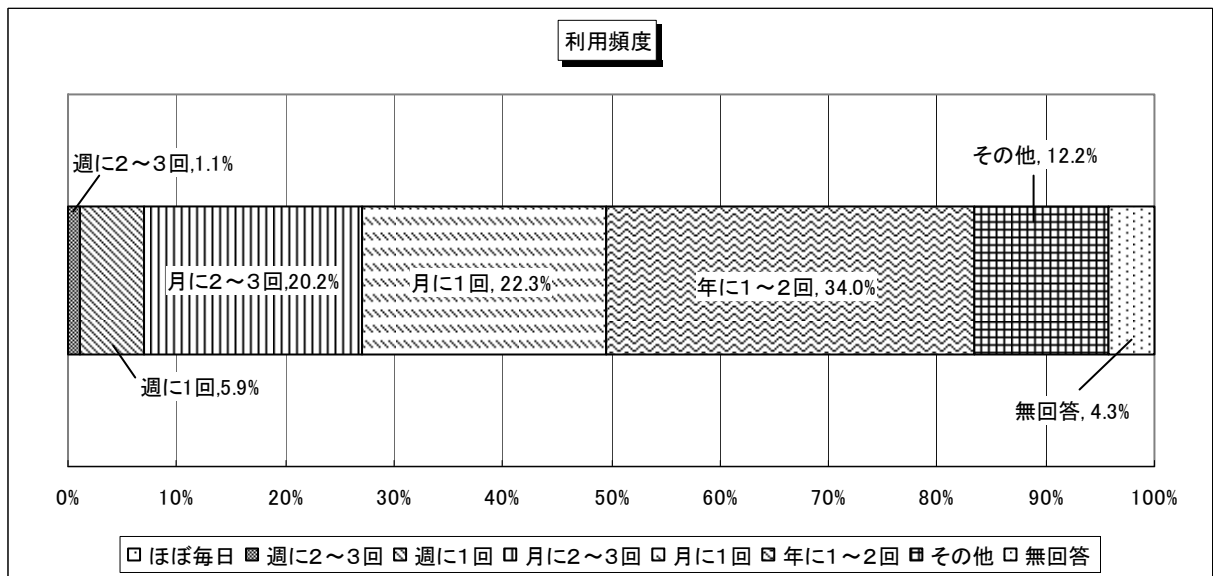
停留所番号	停留所名	往路・乗車	往路・降車	復路・乗車	復路・降車
1	ふれあいの郷	1	6	4	1
2	北方	0	0	0	1
3	祖父江口	3	2	2	3
4	祖父江支所	5	0	0	5
5	祖父江の森	1	3	3	1
6	鶴塚	0	0	0	0
7	尾西病院	1	14	13	1
8	森上駅	3	5	5	2
9	日光	3	0	0	3
10	片原一色	8	0	0	6
11	愛知西農協明治支店	3	0	0	3
12	明治市民センター	0	0	0	0
13	平	0	0	0	1
14	下屋	0	0	0	0
15	天池	2	1	1	2
16	アピタ稲沢店	0	18	16	2
17	ヨシヅヤ新稲沢店	13	4	5	12
18	市役所	4	8	8	3
19	美術館・保健センター	1	5	3	0
20	城見ヶ丘	4	0	0	4
21	小沢	3	0	0	2
22	国府宮駅	16	42	36	12
23	市民病院	2	18	15	3
24	市民会館・中央図書館	3	10	11	4
25	小池二丁目	3	0	0	3
26	駅前一丁目	3	0	0	2
27	JR稲沢駅西口	21	4	5	21
28	下津市民センター	6	1	1	3
29	リーフウォーク稲沢	2	9	7	3
30	地泉院前	1	0	0	1

停留所番号	停留所名	往路・乗車	往路・降車	復路・乗車	復路・降車
31	愛知西農協長岡支店	0	0	0	0
32	富士美ヶ丘南	3	1	1	2
33	中牧	1	0	0	1
34	善光寺南	2	0	0	1
35	高御堂住宅西	3	0	0	2
36	トップモール	3	3	2	3
37	南緑町	4	0	0	2
38	大矢	1	4	3	1
39	大矢西	1	0	0	0
40	附島	4	0	0	4
41	千代田市民センター	1	0	1	1
42	野崎	4	0	0	4
43	田代団地北	4	0	0	2
44	前浪北	3	0	0	2
45	東城	0	0	0	1
46	平和支所・らくらくプラザ	0	4	4	0
47	北津島病院北	2	2	2	1
48	ヨシツヤ平和店	3	2	2	4
49	下起中	1	0	1	0
50	西光坊	0	0	0	0
51	法立小学校西	0	0	0	0
52	新開西	2	0	0	2
53	鷺尾農村公園南	0	0	0	0
54	須ヶ谷	0	0	0	0
55	上三宅公民館	0	0	0	0
56	下三宅	0	0	0	0
57	長束	2	0	0	2
58	奥田保育園北	2	1	2	2
59	奥田郵便局	0	0	0	0
60	奥田駅	1	0	0	1
61	大里西市民センター	1	0	0	1
62	大里駅	9	0	1	8
63	日下部郵便局	0	0	0	0
64	大里東市民センター	0	0	0	0
65	パールシティ	2	1	1	2
99	不明	17	20	33	35

問5 コミュニティバスをどの程度利用されていますか。

○ 以下の上段の表が今回のアンケート調査結果です。「年に1～2回」が34.0%、「月に1回」が22.3%、「月に2～3回」が20.2%の順に多くなっています。この3つをあわせると76.5%となり、多くのかたが月間あるいは年間のスパンで利用されています。

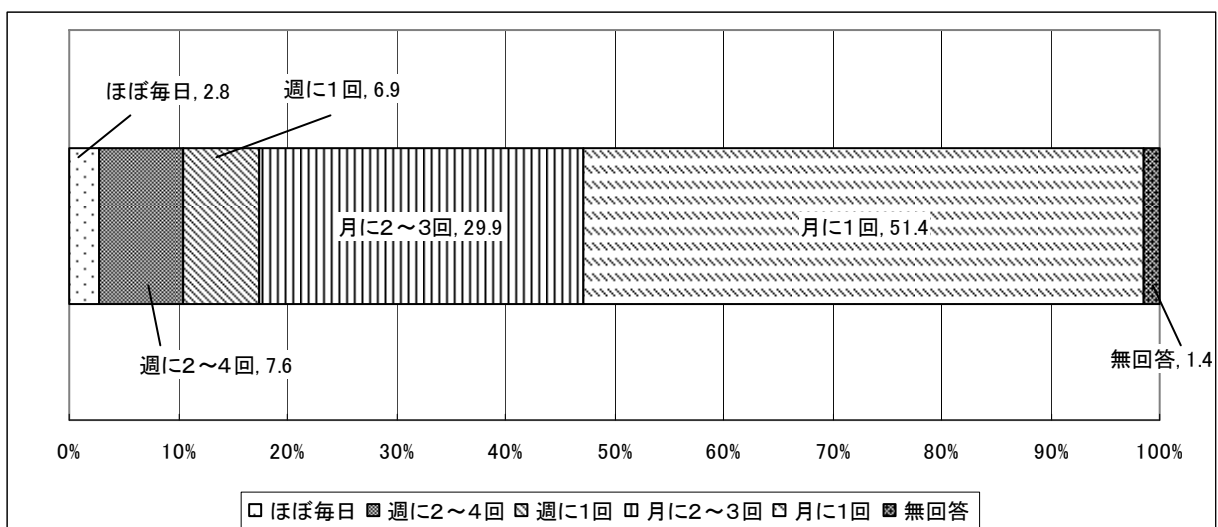
下段の表は平成21年6月の市民アンケート（同じく満18歳以上、2,500人無作為抽出）です。このときの調査では「年に1～2回」の選択肢がありませんでしたが、多くのかたが月間より長いスパンで利用されていることに関して大きな違いはないと考えられます。



【参考】平成21年6月市民アンケート調査（18歳以上、2,500人無作為抽出）

「どの程度コミュニティバスを利用していますか」の設問に対する回答

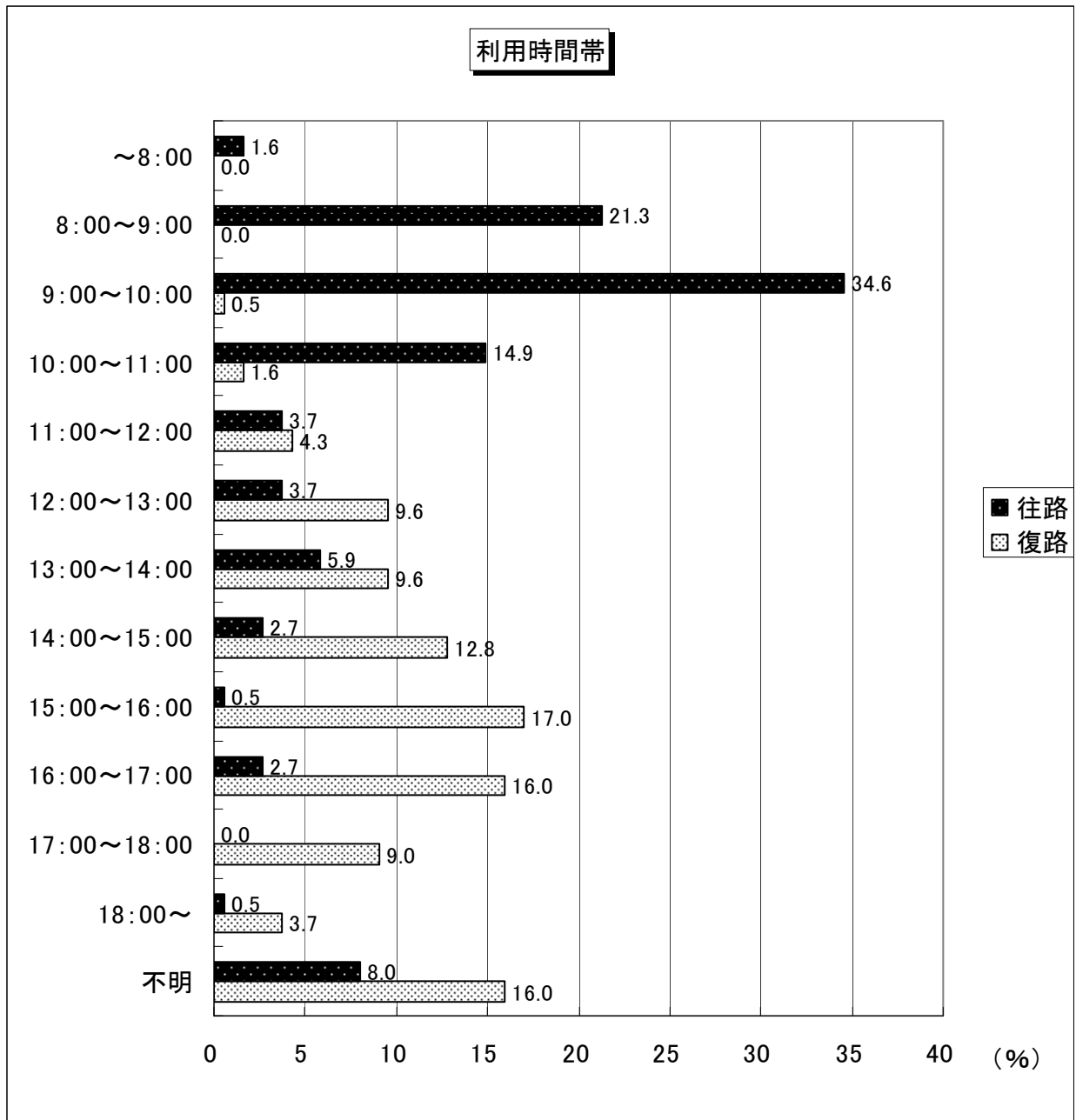
（※コミュニティバスを利用していると回答されたかたへの設問）



問6 主にコミュニティバスに乗車される時間帯は、どの時間帯ですか。

○ 第1位は「9：00～10：00」で35.1%、第2位は「8：00～9：00」で21.3%、第3位は「16：00～17：00」で18.7%、第4位は「15：00～16：00」で17.5%となっています。

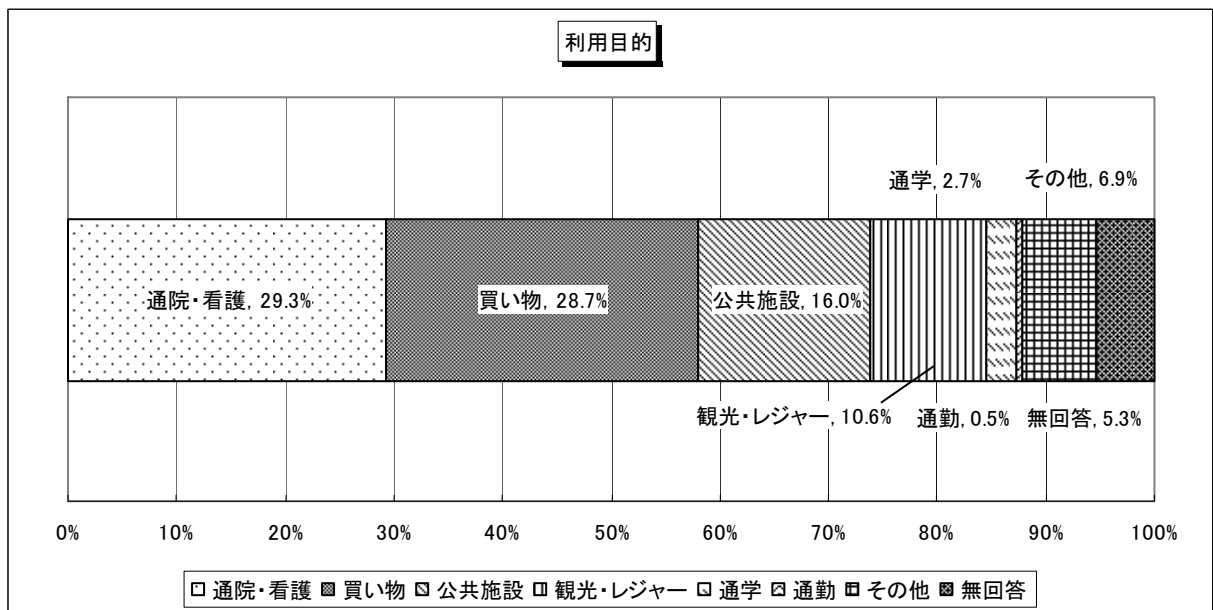
午後よりも午前中の利用が多くなっており、午前中は「9：00～10：00」をピークにその前後の時間帯、午後は「14：00～17：00」の比較的長い時間帯で利用が多くなっています。



問7 主にコミュニティバスをどのような目的で利用されますか。

○ 上段の表は、今回の調査結果です。第1位は「通院・看護」で29.3%、第2位は「買い物」で28.7%、第3位は「公共施設」で10.6%、第4位は「観光・レジャー」で10.6%でした。「通院・看護」と「買い物」で58.0%と半数以上を占め、これに「公共施設」を含めると74.0%、さらに「観光・レジャー」を含めると84.6%となりますので、多くのかたがこの4つの目的で利用されていることがわかります。

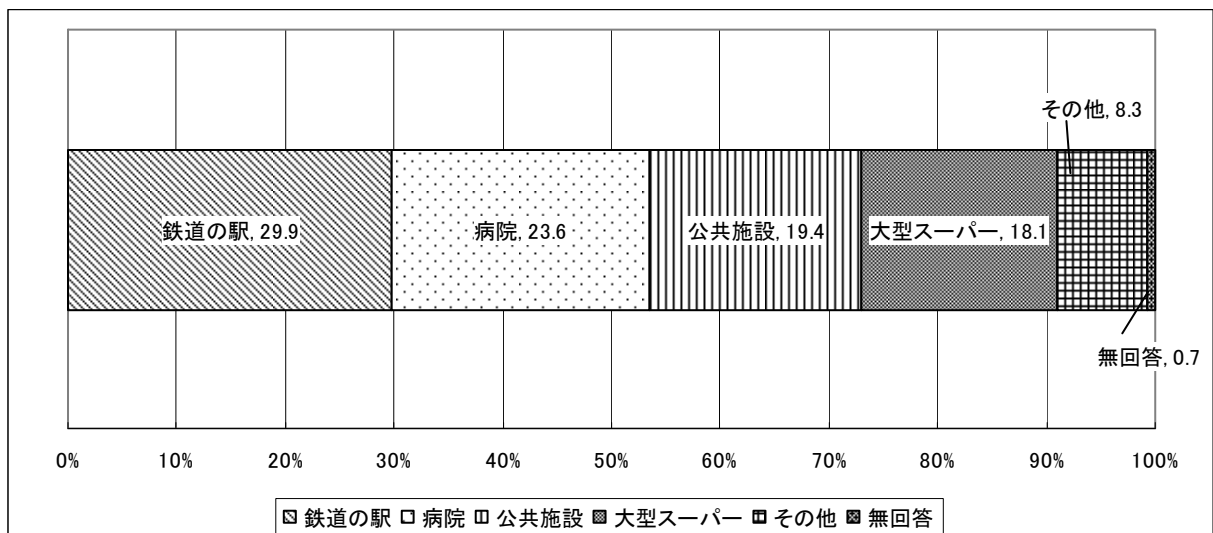
参考までに下段に平成21年6月市民アンケート調査結果（同じく満18歳以上、2,500人無作為抽出）を掲載しました。前は、選択項目に「鉄道の駅」がありましたので単純には比較できませんが、多くのかたが利用されている上位4つの目的で「鉄道の駅」を利用するかたが含まれると思われるので、おおよその傾向は変わらないものと考えられます。



【参考】平成21年6月市民アンケート調査（18歳以上、2,500人無作為抽出）

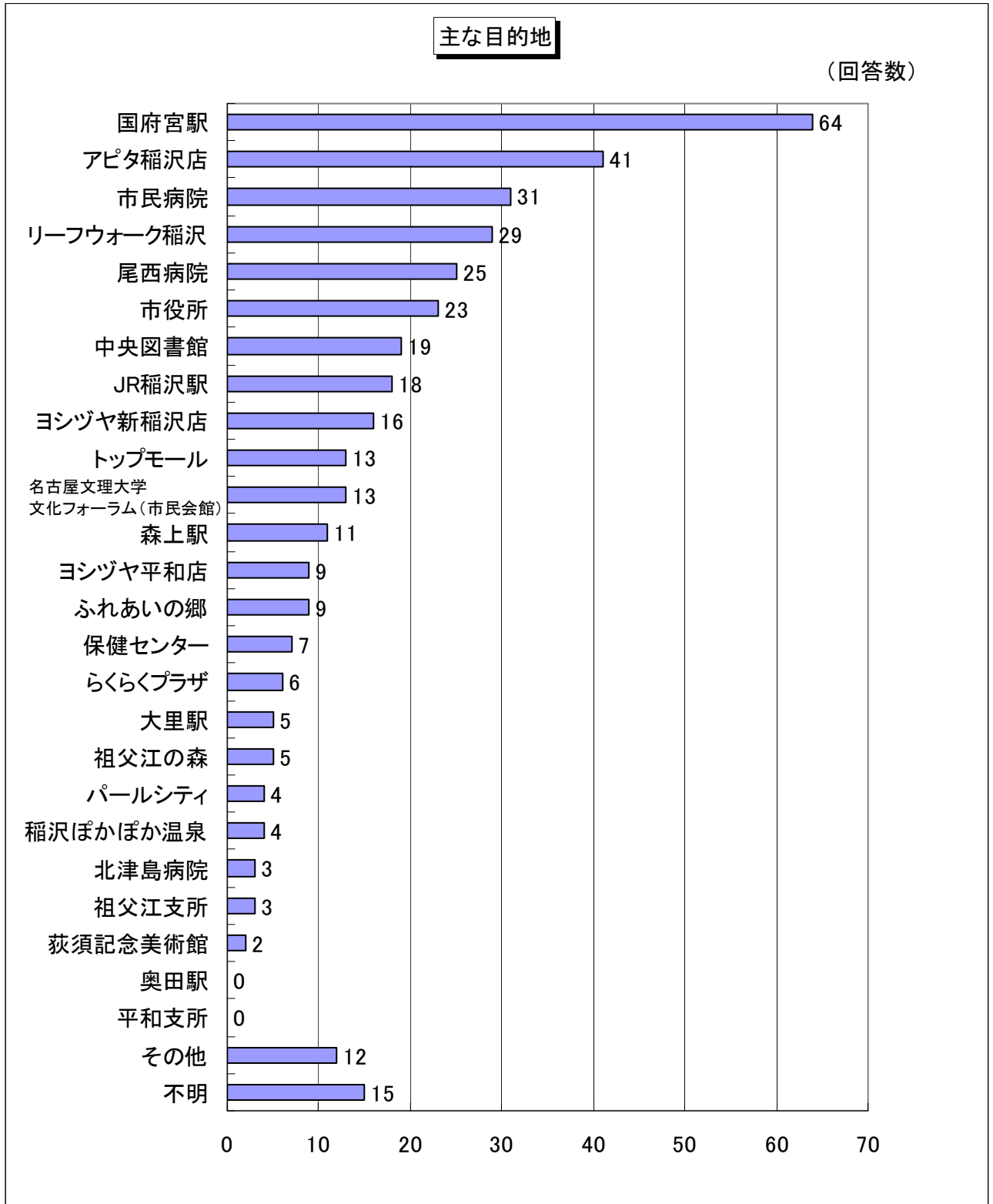
「コミュニティバスを利用して主にどちらへ行かれますか」の設問に対する回答

（※コミュニティバスを利用していると回答されたかたへの設問）



問8 主にコミュニティバスを利用してどちらへ行かれますか。
次の項目の中から3つ選んで番号を記入してください。

○ 「国府宮駅」が第1位で、順に「アピタ稲沢店」、「市民病院」、「リーフウォーク稲沢」、「尾西病院」となっており、駅、量販店、病院が上位を占めています。

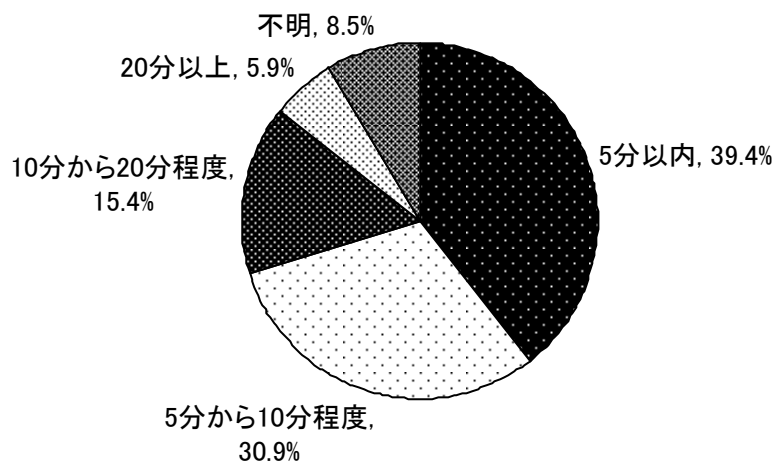


問9 あなたの御自宅から最寄りの停留所まで徒歩で何分掛かりますか。

○ 「5分以内」が最も多く39.4%で、やはり時間が掛かれば掛かるほど利用されるかたは減少します。「5分から10分程度」が30.9%、「10分から20分程度」が15.4%ですので、徒歩で10分を超えると大きく落ち込むものと考えられます。

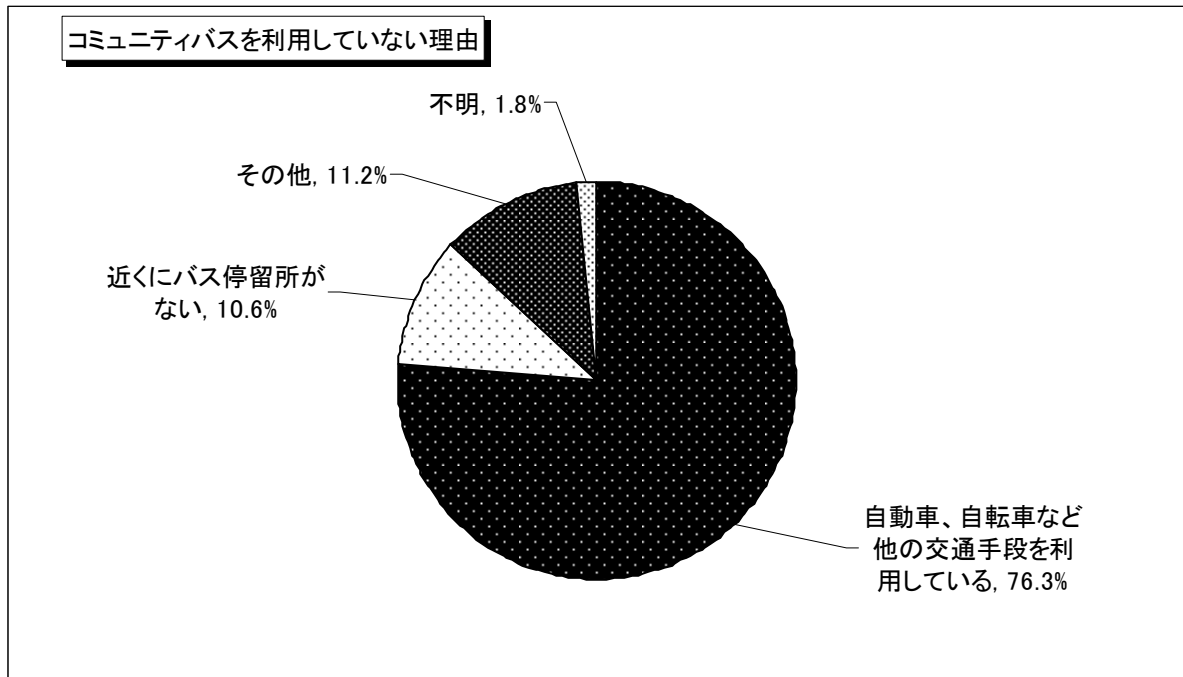
また、「20分以上」であっても5.9%のかたに利用していただいています。

自宅から徒歩で停留所まで



問10 コミュニティバスを利用していない理由は何ですか。

- 「自動車、自転車など他の交通手段を利用している」が圧倒的に多く 76.3%にものぼりました。問2でコミュニティバスの利用率が11.7%しかなかったことの大きな理由と考えられます。次に多かったのは、「近くに停留所がない」で10.6%でした。「その他」11.2%の内訳は以下に別記させていただきましたが、いずれの項目も少数です。

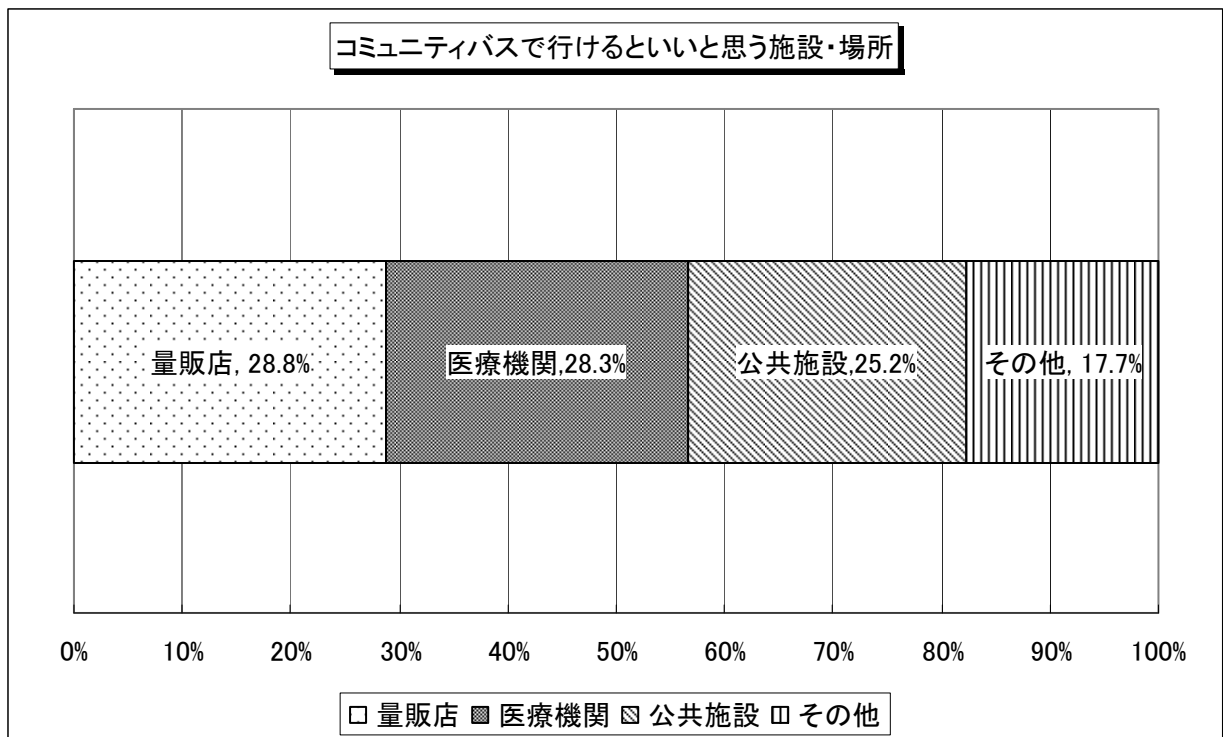


その他の内訳

項目	内訳
コミュニティバスの運行を知らなかった	2.6%
運行本数が少ない	1.7%
行きたい場所へ運行していない	1.6%
利用したい時間帯と合わない	2.2%
日曜・祝日に運行していない	1.0%
上記以外	2.1%

問 11 あなたが、普段行かれる施設・場所のうち、コミュニティバスで行けるといいと思うのはどこですか。
 次の項目の中から3つ以内で選び、番号を記入してください。
 また、() 内には、その名称を記入してください。

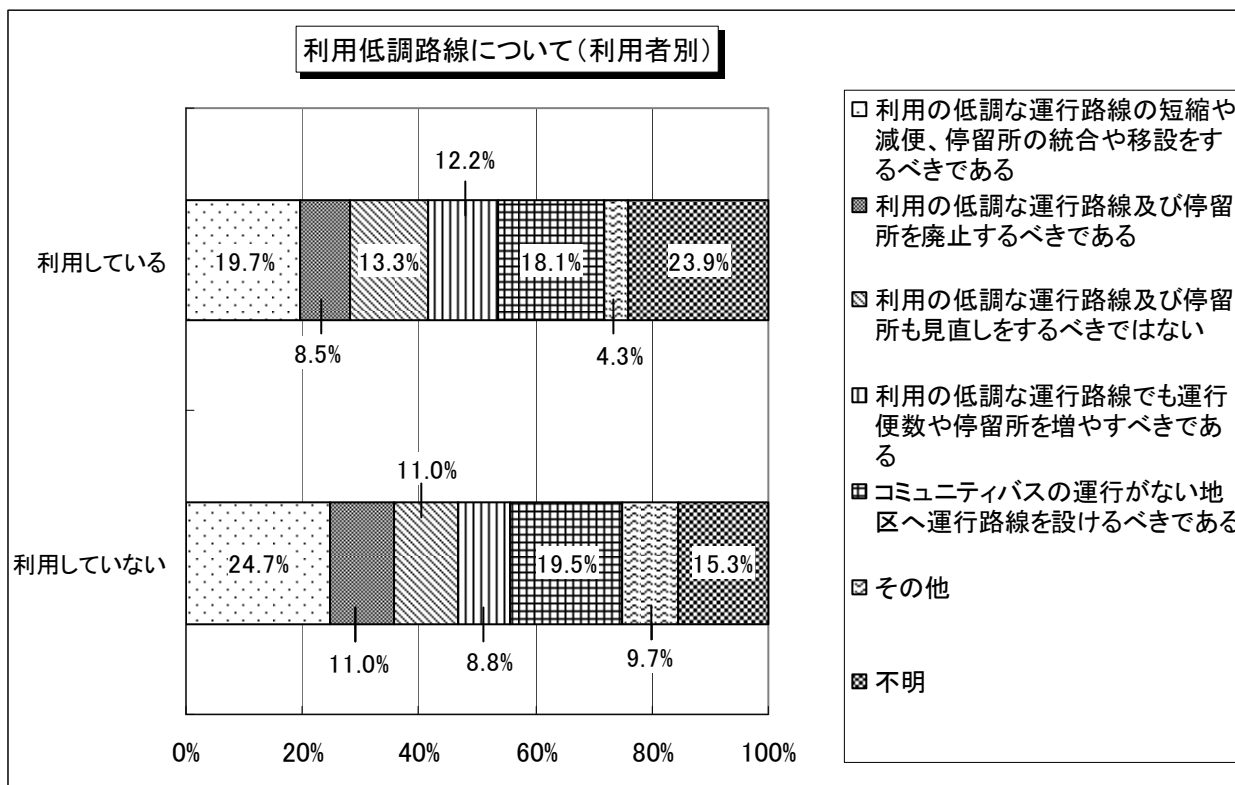
- コミュニティバスで行けるといいと思う施設・場所につきましては、御回答いただいた内容を「量販店」、「医療機関」、「公共施設」、「その他」の区分で集計いたしますと、次のグラフのとおりになります。
 - この区分ごとに集計いたしますと、記入していただいた施設・場所の名称の多くが、既にコミュニティバス停留所が設置されている施設・場所である結果となりました（以下の下線表示）。
 - ◇量販店・・・アピタ稲沢 38.1%、リーフウォーク稲沢 15.0%、パロー平和店 7.9%、トップモール 7.7%
 - ◇医療機関・・・稲沢市民病院 61.0%、尾西病院 32.8%
 - ◇公共施設・・・稲沢市役所 32.9%、中央図書館 21.3%、名古屋文理大学文化フォーラム（市民会館） 14.1%、祖父江の森 7.4%
 - ◇その他・・・国府宮駅 42.8%、J R稲沢駅 22.7%、J R清洲駅 4.6%、森上駅 4.3%、勝幡駅 3.9%
- これは、問 1 において、9 割近くのかたにコミュニティバスの運行が認知されながら、停留所の設置場所については市民のみなさまに広く認知されていないことを表すことでありますので、広報活動を工夫し、コミュニティバスの運行内容を広く周知する必要があると考えられます。



問12 コミュニティバスの利用料金は1乗車1人200円（小学生100円、未就学児無料）ですが、利用料金のみでは運行経費をまかなえないため、市が年間37,882,424円（平成23年度決算額。市民1人当たりの負担額は279円）を負担して運行しています。これを利用者1人当たりの負担額にしますと、祖父江・下津線（ふれあいの郷系統）が457円、同線（地泉院系統）が492円、平和・千代田線が1,488円、大里循環線が638円となって、各路線において市負担額に差が生じています。

このように、利用の低調な運行路線がある一方、コミュニティバスの運行がない地域もありますが、今後の運行路線や停留所の見直しをどのようにするべきであると考えますか。

- この設問のグラフは、問2からコミュニティバスを「利用してる」かた「利用していない」かたに分けて作成しましたが、利用の別に関わらず、回答に傾向の違いは見られませんでした。最も多かったのは「利用の低調な運行路線の短縮や減便、停留所の統合や移設」で、次に多かったのは「コミュニティバスの運行がない地区へ運行路線を設けるべきである」でした。また、利用低調路線に対して「廃止するべき」、「見直しをするべきでない」、「増やすべき」は多くありませんでした。したがって、利用者数に応じて、できる限り市内全区をバランスよく運行することを期待されているものと考えられます。

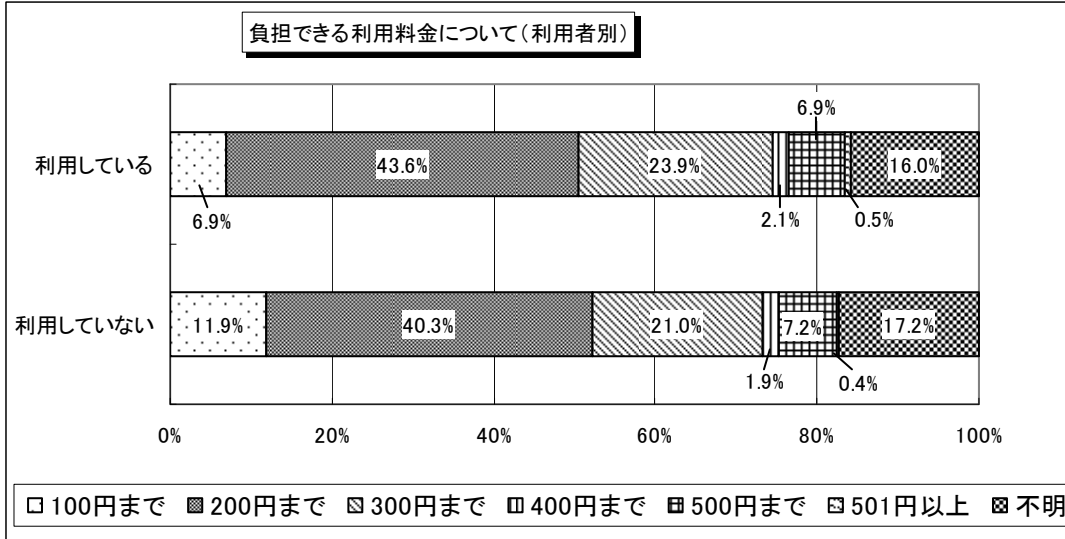


問13 コミュニティバスの利用料金について、伺います。
あなたが負担できる利用料金は、いくらまでですか。

○ この設問のグラフも、問2から「利用してる」かたと「利用していない」かたに分けて作成しましたが、利用の別に関わらず、回答に傾向の違いは認められませんでした。

最も多かったのは「200円まで」で40%強、次に多かったのは「300円まで」で20%強でした。

現在の運賃は大人1乗車200円ですので、現状維持を望まれるかたが最も多い結果であると考えられます

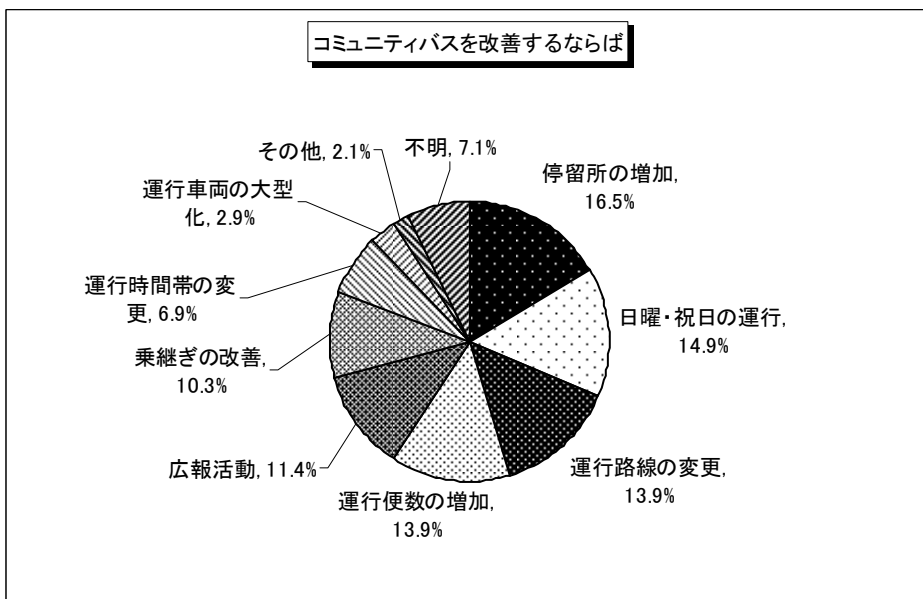


問14 より多くのかたにコミュニティバスを利用していただくために、改善するならばどのようなことだと思われますか。

次の項目の中から2つ選んで番号を記入してください。

○ 御意見が多かったのは「停留所の増加」、「日曜・祝日の運行」、「運行路線の変更」、「運行便数の増加」でした。

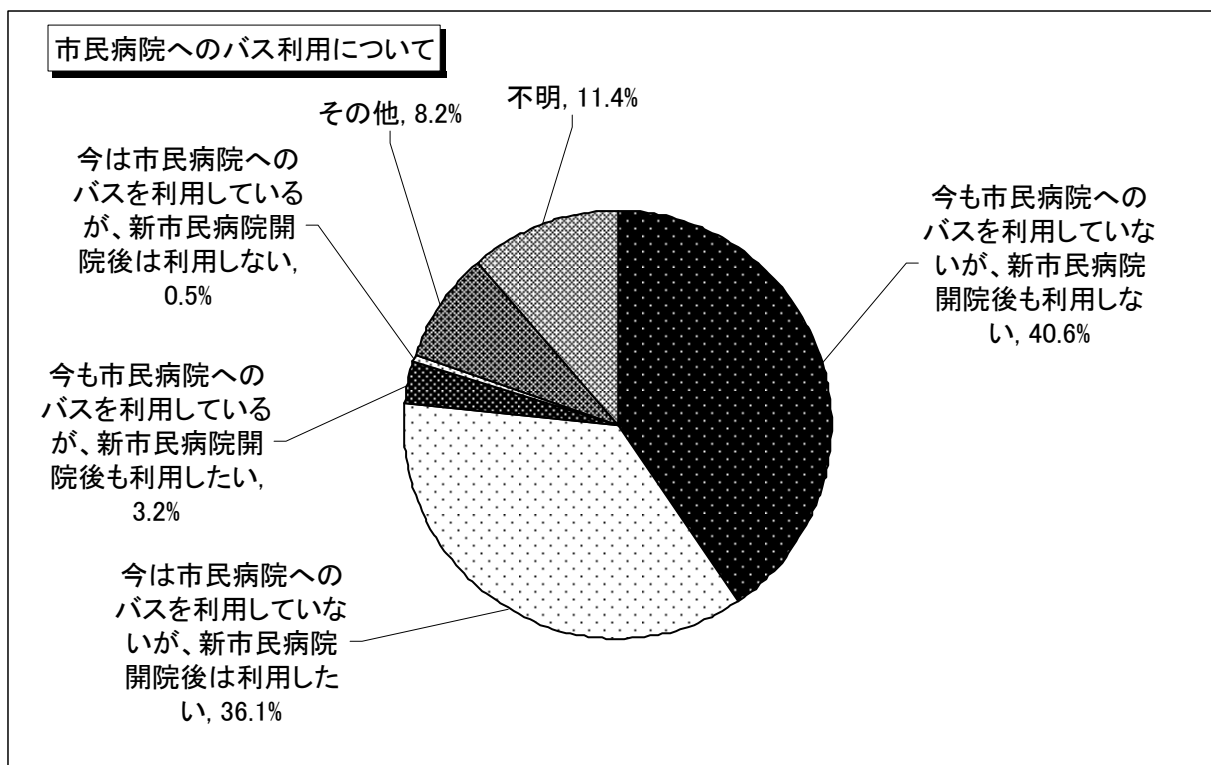
利用促進のためには、運行事業を拡大していくことが必要であると考えられていることがうかがえます。



問 15 現在、市民病院にはコミュニティバスの停留所が設置されており、全路線ともこの停留所を運行しています。平成26年11月の新市民病院の開院（中央図書館南側に建設中）により、現在の市民病院は移転することが予定されていますが、今の市民病院へのコミュニティバスの利用とあわせて、新市民病院の開院後の利用についてお伺いします。次の項目の中から1つ選んで番号を記入してください。

○ 最も多かったのは「今も市民病院へのバスを利用していないが、新市民病院開院後も利用しない」が40.6%で、次に多かったのが「今は市民病院へのバスを利用していないが、新市民病院開院後は利用したい」で36.1%と、この2つが拮抗いたしました。現在、「市民病院へのバスを利用していないかた」のなかで、「新市民病院開院後のバス利用の意向」が半分に分かれる結果となりました。

また、「今も市民病院へのバスを利用しているが、新市民病院開院後も利用したい」が3.2%ですので、あわせて4割近くかたが、新市民病院開院後のバス利用を期待されておられます。



問 16 コミュニティバスの目的地として、新たに停留所を設けるならば、どこに設けるのが良いと思われますか。
施設名などを御記入ください。

○ 「記載された内容から以下のように分類をさせていただきました。「無回答」が 66.9%とたいへん多い結果でした。

